

## 国際共生社会研究センター

Center for Sustainable Development Studies

オープンリサーチセンター

公開講座 環境教育セミナー

### 「地域と世界を結ぶ環境教育」開催のお知らせ

第2プロジェクト「環境共生社会論の体系化」グループが企画し、11月初旬に行われる東洋大板倉キャンパスの大学祭「雷祭」のプログラムのひとつとして、「環境教育に関する公開講座」を開催します。環境教育は、次代の地球社会を担う子どもたちに環境理解や環境保護の意識と実践を身につけてもらうための重要な役割を持っています。この講座は、環境教育の重要性について学生や地域の人々等の理解を促進するとともに研究プログラム推進の一環として開催するものです。

●日 時:

2002年11月2日(土) 13:00~16:30

●会 場:

東洋大学板倉キャンパス1号館1101教室  
群馬県邑楽郡板倉町泉野1-1-1  
(東武日光線板倉東洋大前駅から徒歩約10分)

●プログラム

1. 環境共生論研究の意義と概要

長濱元 研究員

2. 環境問題と教育の位置付け

鳩貝太郎 氏

3. 学校における環境教育

宮田容子 氏

4. 国際的な環境教育プロジェクト(SAW)の紹介

丹伊田敏 氏

5. 総合討論と質疑

司会:中嶋滋夫 研究員

### オープンリサーチセンター活動報告

#### プロジェクト1

ワークショップ開催:2002年12月9日(土)  
タイ・バンコク・アジア工科大学にて

地域研究は海外からの研究も勿論大切ですが、現地の研究者の視点・考え方を十分に交流をしながら進めることが、大きな方向性を見失わないために大切な作業です。また、研究した成果を現地に還元し、役立たせられるようにすることも大切であると考えています。国際共生社会研究センターでは、国際ワークショップを、日本国内ではなく海外で行うことで、センターの研究プロジェクトの意義を高めようと考えています。(藤井敏信研究員)

#### プロジェクト2

8月下旬中国吉林省長春市の東北師範大学環境科学院および北京市西城区白雲路小学校を訪問し、中国における環境教育について最初のヒアリング調査を行った。

東北師範大学では大学生、大学院生および中学校教員を対象とした専門教育と一般教育について、白雲路小学校では児童と地域を対象とした環境教育の経緯と実践の状況について見聞し、中国における環境教育調査のきっかけとなる情報を把握した。(長濱元研究員)



東北師範大学城市環境科学院  
袁主任教授・王副教授と資料交換

#### プロジェクト3

カンボディアにおける海外研究の実施

発展途上国における地域開発計画の体系化およびデータベース化の研究のために当センター金子研究員が9月8日



写真1 カンボディアの農村

から15日の日程でカンボディアにおいて海外研究を実施した。現地においては、カンボディア政府計画省計画総局長、同公共事業省派遣JICA専門家、国連開発計画副代表、アジア開発銀行担当官、日本大使館公使、JICA事務所次長、日本国際ボランティア事務所代表他と面談し情報収集、意見交換をおこなった。また、カンボディアのデジタル地図、統計などの資料収集を行なった。さらに、地域開発のキーとなる農村地域および基幹的なインフラを見学した。このように短時間ではあったが所期の目的を達成することができた。



写真2 メコン川にかかる「絆橋」

写真1はカンボディアの農村。写真2は日本の無償協力により完成したメコン川にかかる「絆橋」である。(金子彰研究員)